

医療薬学フォーラム2005（鹿児島）

患者の入院時持参薬管理状況と  
保険薬局の薬剤情報提供の実態調査

地域医療支援病院オープンシステム徳山医師会病院  
吉永 哲史、澁江 なつ美、有馬 治男、伊ヶ崎 芳美、  
佐貫 記子、坂田 幹枝、西村 正広

## <はじめに>

当院はオープンシステムのためほとんどの患者が他院の薬を持って入院してくる。そこで5～6年前より全入院患者を対象に持参薬を調べている。

患者が入院してくると病棟より「持参薬鑑別依頼書」と一緒に持参薬が薬局に提出される。鑑別依頼書には病棟・部屋番号・患者氏名・持参薬を服用するのかどうか・本人管理かナース管理か、などが記入してある。

鑑別は**薬剤情報検索システム(M R 2002春版)**を使用している。処方病院又は調剤した薬局、用法・用量、薬の残数、当院採用品の有無、採用品がなければ同一成分薬または類似薬を鑑別書に記入し、カルテにはさんで医師や看護師に情報を提供している。

## < 調査 、 の目的 >

鑑別を行う際に、用法・用量が不明な事が数多くあった。よって、患者の持参薬管理状況と、薬剤情報提供書やお薬手帳の持参状況などを調べる事にした。

## < 調査 >

### 患者の持参薬管理状況など

期間：H16年4～6月 対象人数：426人

#### 結果

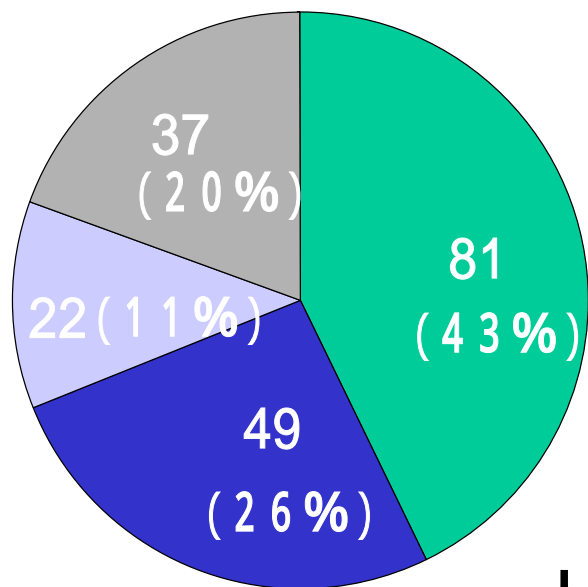
鑑別人数	用法・用量不明	古い薬袋	重複
426	118 (28%)	29 (6.8%)	10 (2.3%)

### 薬剤情報提供書（以下：薬情）又は お薬手帳について聞き取り調査

期間：H16年8～9月 対象人数：189人

内容：a) 当院への持参状況  
b) 持参しなかった理由

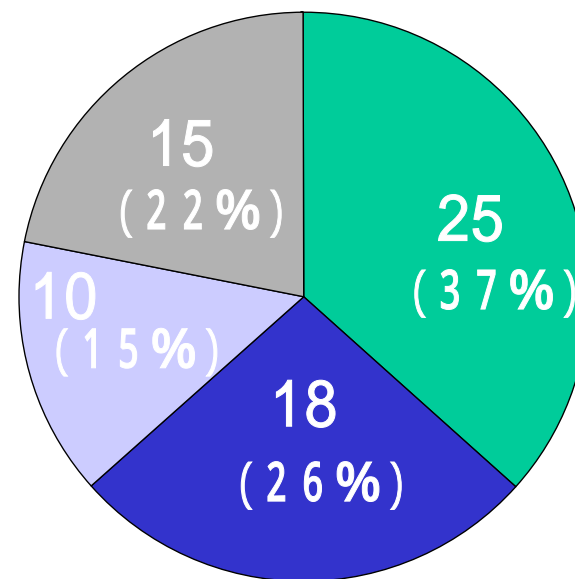
- a ) 薬情又は  
お薬手帳の持参状況



人数

- 持ってきていない
- もらっていない
- 未提出(面談時に提出)
- 提出

- b )  
持参しなかった理由



人数

- 面倒くさい
- 忘れる
- 聞いてない
- その他

## < 小括 >

28%の患者が薬袋と薬をバラバラに管理しており、用法・用量が不明であった。又、6.8%の患者が現在服用していない薬(古い薬袋)と一緒に管理していた。中には他人の薬袋で管理している患者もいた。

薬情やお薬手帳に関しては69%の患者が持参していなかった。その理由としては「面倒くさい」などであったが、中には「必要性を感じない」という患者もいた。

## < 調査 の目的 >

調査 及び の結果より薬袋に薬品名が記入してあれば誤薬を防ぐことが可能であると考えた。また、薬情やお薬手帳の持参率が低かったことも検討すべき点と思われた。

そこで、徳山薬剤師会に所属する保険薬局の薬剤情報提供の実態を調べる事にした。

## < 調査 >

### 保険調剤薬局の薬剤情報提供の実態

期間：H 1 7 5月 方法：アンケート調査

対象数：57施設(徳山薬剤師会に所属する保険薬局)

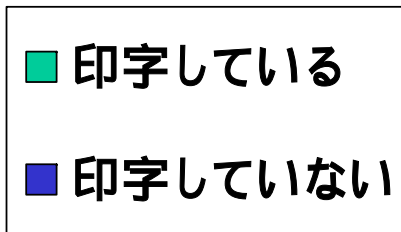
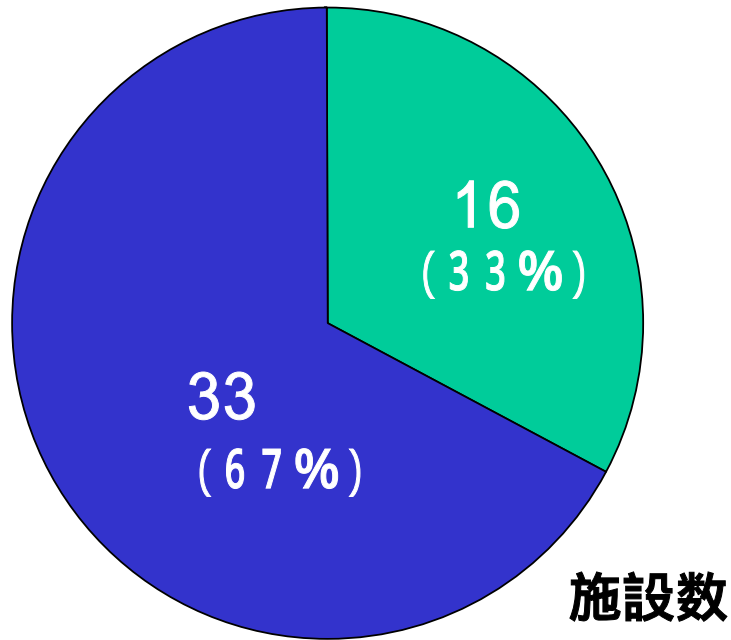
回収：49施設 (回収率：86%)

- 内容：
- a) 薬袋に薬品名・薬効を印字しているか？
  - b) 記入していない理由は？
  - c) 薬情やお薬手帳を「他の医療機関を受診する時は提出するように」伝えているか？
  - d) 伝えない理由は？



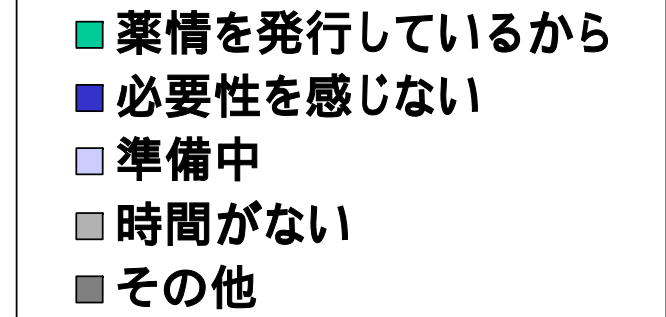
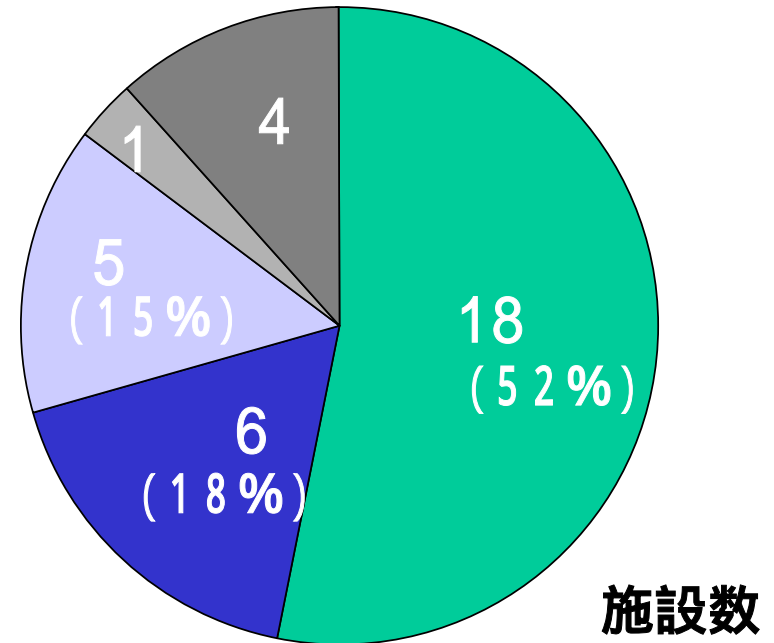
－ a )

薬袋に薬品名を印字  
(記入)しているか？

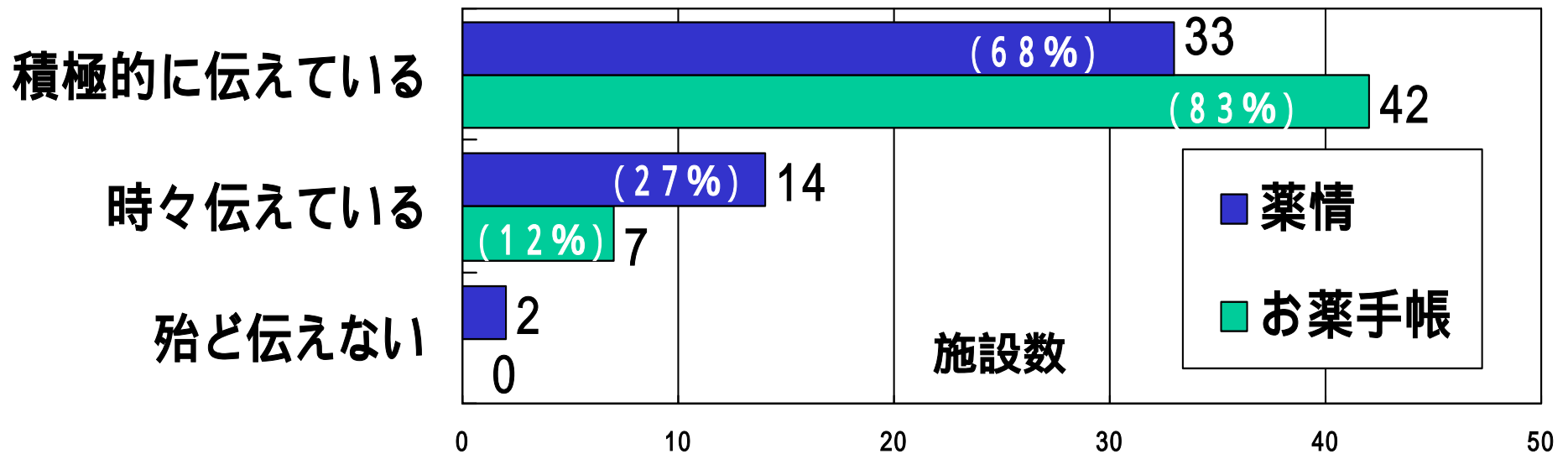


－ b )

印字していない理由



－ c ) 薬情やお薬手帳を「他の医療機関を受診する時は提出するように」伝えているか？



－ d ) 伝えていない理由は？

**薬情** お薬手帳を持って行くよう言っているから・  
時間がない・忘れる 等

**お薬手帳** お金がかかってしまうから・テレビ番組放映後拒否されるから 等

## < 総括 >

**調査** より、薬情やお薬手帳を「持って行くよう」積極的に伝えていても、**調査** のように実際は活用されていない事が多いことがわかった。更に、**調査** で示されるよう、薬と薬袋をバラバラに管理していることがあり、少なくとも**薬袋に薬品名が記入してあれば誤薬を防ぐことが可能**であると思われる。しかし当院と保険薬局側とでは薬袋に対する考え方に少し温度差があった。薬袋も薬剤情報提供に成り得る事を働きかけなければならぬと感じた。

また、薬情やお薬手帳の**利用方法などの説明が各施設で統一されていない**と患者側も迷ってしまい、持参率も悪くなる。**薬情とお薬手帳の一元化が望ましい**と思われる。